

# PSD 協会

令和 8 年 2 月 27 日 zoom 会議事録

書記 松江光弘

日時 2026 年 2 月 27 日 (水) 19 時～20 時 30 分  
会場 ZOOM 開催  
出席者 川島 哲会長、片岡 均副会長、中野 進也副会長、齊藤 篤史専務理事  
佐藤 洋久常務理事、五十嵐 尚美理事、清水 一弘理事、北浦 純理事、  
歌橋 麗華理事、伊藤 貴也理事、黒松 慎司理事、南木 康広氏、  
松江 光弘理事

座長 中野進也副会長

川島会長挨拶

## 第 27 回学術大会の企画

- 日時と場所: 9 月 26 日、27 日に神田の貸し会議室「エッサム神田」で開催。会場予約は完了済み。
- 内容と演者:
  - 実習・デモンストレーション形式で、デザインとワックスアップを中心に実施。
  - 演者として、川島会長がデザインデモ、中野さんと伊藤さんがワックスアップデモを行う案が出た。
  - 参加者は登壇者のリアルな仕事の進め方（手義手法）を見たがっているため、模型を預かってからフレーム製作までの一連の流れを見せることで、より有益な内容になるという意見も出た。
  - ワックスアップデモが複数あると内容が重複し、参加者が飽きる懸念が指摘された。
- デモ担当者の再検討:
  - 新たに黒松さんと清水さんがデモ担当候補として挙がった。
  - 清水さんがワックスアップ、黒松さんがデザインを担当する形式が提案され、二人のアイデンティティを活かした連携が期待されている。
  - 結論: 清水さんと黒松さんで具体的なデモ内容を検討し、提案することになった。
- タイムテーブル (案) : 川島会長の講演・デザインデモ、中野さんと伊藤さんのワックスアップデモを行うと、2 枠程度の時間が空く見込み。
- デモで使用するクラス:

- 。 市販されていない「ラピッドフレックスパターン」のクラスプを使用予定。問い合わせには「在庫品を持ってきた」と説明する方針。
- 。 追加製作と入手は困難だが、川島会長より代替品を製作検討中のメーカー情報が共有された。

#### 学術大会の広報・宣伝

- 。 案内状: 3月中にレイアウトを作成し、4月には印刷完了を目指す。
- 。 月刊誌広告: 多数決の結果、宣伝効果を考慮し「月刊歯科技工」に約7万円で広告掲載を決定。6月号か7月号を目指す。
- 。 SNS: メンバーに対し、SNSでの積極的な情報共有を要請。

#### 7月の設計コース

- 。 定員8名に対し、参加者は9名で実施する。
- 。 江崎氏と高橋氏も参加。

#### 支部制度の進捗と活性化

- 。 進捗: 事務局から会員へ支部のブロック分けをメールで配信済み。今後は支部間の連絡体制構築が必要。
- 。 課題: 支部間の交流が不足している。
- 。 活性化策:
  - 。 ブロックごとの勉強会や交流会（飲み会、症例検討会）の開催が提案された。
  - 。 フェイストゥフェイスでの交流の重要性が強調され、まずは懇親会など気軽な集まりから人間関係を構築することが提案された。
  - 。 支部長を選出し、活動を具体化していく必要がある。
- 。 ブロック分けの見直し:
  - 。 所属に混乱が見られたため、名簿を元に再精査が必要。
  - 。 中部ブロック5名、関西ブロック9名、関東ブロック27名であることが確認された。

#### キャストパーソナルコンテストと技術レベルの問題

- 。 技工誌掲載記事: 4月号に掲載されるコンテスト記事のレイアウトについて、1位の作品写真を大きく見せるなど、読者にとって見やすい構成に修正することで合意。

- 技工物の適合性:
  - 提出された作品の多くが適合レベルが低く、患者に使用できないレベルのものも含まれていた。
  - エポキシ模型の時間経過による変形が原因の可能性も多少指摘された。
- 役員の再製作義務化:
  - PSD の品質を担保するため、コンテストに未提出だった役員に対し、強制的に模型を送付し作品を提出させることが決定。
  - 提出された作品で 1 級～3 級のランク付けを行い、ホームページで公開する。
  - 製作期間は模型到着後の 4 ヶ月間（4 月～7 月）8 月提出予定。
- コンテストの基準:
  - コンテストへの参加をあたり前の文化とし、基準以下の作品には審査料を徴収した上で「再製作」として作り直しの機会を与えるべきだと提案された。

#### 歯科技工教育の現状と課題

- リーダー育成プログラムの次の段階として、受講者が教える側に回る（例：アシスタント参加）案が出された。
- 東邦歯科医療専門学校では、教員の不在により適切な金属床教育が行われていない現状が共有された。山田先生が自費でセミナーに参加し、技術を学んで教えようと奮闘している。
- 川島会長は、自身の研修会の成果が現場に活かされていない現状に深く落胆していると述べ、人を傷つけずに教え導くことの重要性を説いた。

#### その他

- 大阪メンバーの技工士が辞めたという未確認情報があり、事務局が本人に確認することになった。